

◆第 26 回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ (ミックス・エンジョイ、ミックス) 申し合わせ事項◆

項 目	内 容
1. 適用ルール	・公式ルールおよび本申し合わせ事項を適用する。
2. 試合時間、試合方法	・予選 : 7 分 1 ピリオド ・準々決勝: 1 1 点制 1 ピリオド ・準決勝 : 1 1 点制 1 ピリオド ・決勝 : 1 1 点制 2 ピリオド先取
3. 選手等登録	・申込時より変更がある場合、大会当日受付に変更届け(所定様式)を提出しなければならない。以降の変更は認めない。
4. ゼッケン及びコール	・ブルー、グレー、ブラックのゼッケンを使用する。 ・チームカラーのコールは、フランス語 Bleu(ブル)、Gris(ギリ)、Noir(ノア)で行う。 ・参加者各自において、公式ゼッケン(No.なし)を用意する。用意できない場合、主催者において、有料レンタル若しくは販売したものを使用する。
5. ラインジャッジ	・決勝のみ配置する。
6. 試合開始の ヒットインチーム	・ブルーチームからのヒット・インとする。
7. アナウンス	・予選は試合残り 1 分のアナウンスを行う。
8. タイムアウト	・予選はチームからの申請によるタイムアウトはなし。
9. インジュリータイム (選手のケガ等による ロスタイム)	・1 回につきインジュリータイムは 5 分以内とする。 ・5 分経過した時点で、ヘッドレフリーはゲームを再開。ケガ等で 5 分以内にプレーを継続することのできなくなった選手が出たチームは、速やかに交代選手を出場させなければならない。 ・上記時点で交代選手がいない場合、そのチームは失格となる。 ・ケガ等の状況を医療スタッフや審判長が判断し出場不可にする場合もある。
10. メジャー警告	・メジャー警告を与えられた選手は、次の試合が出場停止となる。チームに対するメジャー警告を受けた場合、チームとして次の試合は参加できない。ただし、ともに別の大会に持ち越しはしない。
11. トゥワイス(※1)	・適用する。 - 加えて、男性プレイヤー同士の異なる男性の連続ヒットも、この反則を適用する。但し、女性プレイヤー同士の異なる女性の連続ヒットは、この反則を適用しない。 ※ このトゥワイスのルールは2024年11月に韓国で開催されたワールドカップのものを採用している。この部門については3人目のレフリーをスコアの所に常駐させ、この反則のみを見る。選手・コーチからの質問は一切受け付けない。またトゥワイスの反則があったときは、3 人目のレフリーが試合を止める権限も持つ。なお、3 人目のレフリーもB級以上の資格を持つ者が担当する。

項目	内容
12. 不当な攻撃 (コールミス)	・ 予選の試合残り 1 分を切った場合、不当な攻撃を適用しない。
13. 予選順位の決定	・ 予選同順位チームが出た時で、決勝、準決勝又は準々決勝進出が確定している場合、抽選棒にて最終予選順位を決定する。予選同順位チームが出た時で、決勝、準決勝又は準々決勝進出チームを選出する場合、順位は下記の基準で決定する。 ① 予選 3 試合の総勝ち点で順位を決定する。 ② ①で同点のとき、勝ち点 15 ポイント獲得の多いチームを上位とする。 ③ ②で同じとき、勝ち点 14 ポイント獲得の多いチーム、勝ち点 12 ポイント獲得の多いチーム、勝ち点 11 ポイントの多いチーム…このように高い勝ち点を多く獲得したチームを上位とする。 ④ ③で同じとき、同点同士のチームで戦った試合での総勝ち点の多いチームを上位とする。 ⑤ ④で同じとき、当該チームの 3 ポイント先取によるプレーオフ試合。 ※プレーオフは警告の点数のみ影響する。
14. 準々決勝	・ 参加チーム数に応じて決勝、準決勝及び準々決勝を実施する。 ◇ 11～14 チームの場合、予選 1 位は決勝。2 位～7 位は準決勝。 ◇ 15～18 チームの場合、予選 1 位～9 位は準決勝。 ◇ 19～22 チームの場合、予選 1 位～8 位は準決勝。9 位～11 位は準々決勝。 ◇ 23～26 チームの場合、予選 1 位～7 位は準決勝。8 位～13 位は準々決勝。 ・ 11 点に最初に到達したチームが勝者となる。 ・ 9 点に最初に到達したチームが出た時点で 3 位のチームは試合終了となる。 以降 2 チームでの試合となる。試合は得点の低いチームがコート中央から再開する。 (同点時はレフリーがサイコロを振る。)
15. 準決勝	・ 11 点に最初に到達したチームが勝者となる。 ・ 9 点に最初に到達したチームが出た時点で 3 位のチームは試合終了となる。 以降 2 チームでの試合となる。試合は得点の低いチームがコート中央から再開する。 (同点時はレフリーがサイコロを振る。)
16. 決勝	・ 試合の勝者になるためには 2 ピリオドを先取しなければならない。 ・ ピリオド毎に 11 点に最初に到達したチームがそのピリオドの勝者となる。 ・ ピリオド毎に 9 点に最初に到達したチームが出た時点で 3 位のチームはピリオド終了となる。以降 2 チームでの試合となる。試合は得点の低いチームがコート中央から再開する。(同点時はレフリーがサイコロを振る。) ・ 各ピリオドの最初に各チームのスコアは 0 に戻す。 ・ 1 つのチームが 2 ピリオドを先取した場合、2 位はより多くのピリオドをとっているチームである。2 チームが同じピリオド数を獲得している場合、2 位を決めるために 3 点先取の延長戦を行う。
17. その他	・ 大会本部による招集は行わない。各チームメンバーは出場前試合終了後ただちにベンチに集合すること。 ・ 試合開始時選手 4 名がそろっていない場合、そのチームを失格とする。 ・ 事情により決勝戦を辞退しなければならないチームは、準決勝及び準々決勝に参加することができない。